

学校評価アンケート結果について

真弓小学校では、「確かな力と豊かな心を持ち、新しい時代をたくましく生きる人間の育成」を目指し、以下の4つの重点課題を中心に、日々の教育活動に取り組んでいます。

- ① 伝え合う力～あいさつを基本方針として～
- ② あたたかい心～規範意識の向上と豊かな人間性～
- ③ 考える力～基礎基本の充実と柔軟な発想力～
- ④ 体力づくりの推進～休み時間と体育学習を生かして～



3学期に入り、学校では来年度に向けての総括を行っているところです。その中の取り組みの一つとして、学校教育法および学校教育法施行規則に準じて学校長が確認したい以下の10項目について、教職員が自己評価を行っています。

（確認した10項目）

- ① 子どもたちは、学校のきまりやルールを守ることができましたか。
- ② 学校は、子どもたちがきまりやルールを守ることの大切さについて 考える取組を行うことができましたか。
- ③ 子どもたちは、自ら進んであいさつを行うことができましたか。
- ④ 学校は、子どもたちが自ら進んであいさつすることの大切さについて考える取組を行うことができましたか。
- ⑤ 子どもたちは、優しく思いやりのある言葉を使って生活することができましたか。
- ⑥ 学校は、子どもたちが言葉遣いの大切さについて考える取組を行うことができましたか。
- ⑦ 子どもたちは、体育や休み時間に体を動かすことを楽しむことができましたか。
- ⑧ 学校は、子どもたちが体を動かすことの楽しさについて気づく取組を行うことができましたか。
- ⑨ 子どもたちは、楽しく学習することができましたか。
- ⑩ 学校は、子どもたちがわかりやすい授業を目指す取組を行うことができましたか。



そして、児童と保護者にアンケートを実施し、その結果を比較することで、自分たちの評価と児童及び保護者との回答に差異はないかの確認を行いました。

その結果を紹介します。

質問①③⑤⑦⑨をまとめて、

※()はR5年度の数値

学校の目指す子ども像に近づいているか。



**そう思う
だいたいそう思う**
84%(80)

教職員

**あまりそう思わない
そう思わない**
16%(20)



**そう思う
だいたいそう思う**
87%(88)

子ども

**あまりそう思わない
そう思わない**
12%(12)



**そう思う
だいたいそう思う**
86%(86)

保護者

**あまりそう思わない
そう思わない**
14%(13)

①③⑤⑦⑨の質問は、「あいさつできましたか」「きまりは守れましたか」など、学校が目指している子ども像にどれだけ近づいているかを確認する質問になっています。R5年度は子どもたちや保護者の方よりも教職員の方が少し厳しい目で見えていましたが、R6年度は、子どもたちや保護者のポイントに近い結果となっており、学校の目指す子ども像に近づいていると感じている教職員が増えています。

学校の目指す子ども像に近づいていると感じている教職員が増えてはいますが、それ以上に約90%の子どもたちが頑張っていると回答しているので、もっと先生方は子どもたちを評価し、褒めてあげてほしいと思います。学校で子どもたちを誉める場面は多く見かけていますが、もっと子どもたちの頑張りを評価するよう努めてきたいと考えています。

質問②④⑥⑧⑩をまとめて、

※()はR5年度の数値

学校は目指す子ども像に近づくための取組を行っているか。

そう思う
だいたいそう思う
89%(83)

教職員

あまりそう思わない
そう思わない
11%(17)



そう思う
だいたいそう思う
88%(89)

子ども

あまりそう思わない
そう思わない
12%(10)

そう思う
だいたいそう思う
90%(89)

保護者

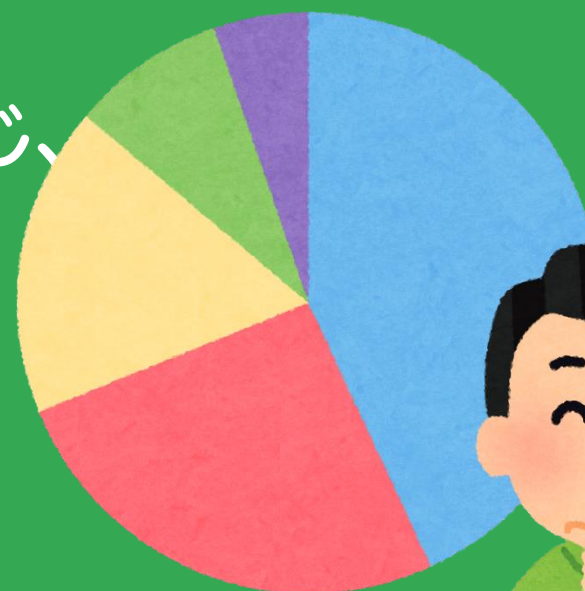
あまりそう思わない
そう思わない
10%(11)



②④⑥⑧⑩の質問は、学校が目標達成のための取組を行っているかを確認する質問です。教職員はR5年度の結果から、子どもたちや保護者から評価されていることを感じ、自信をもって取組むことができたと思います。

この結果を継続できるよう引き続き、取組んでいきたいと思っています。

次は、各項目について紹介します。



質問①

※()はR5年度の数値

子どもたちは、学校のきまりやルールを守ることができましたか。

そう思う
だいたいそう思う
78%(80)

教職員

あまりそう思わない
そう思わない
22%(20)



そう思う
だいたいそう思う
93%(92)

子ども

あまりそう思わない
そう思わない
7%(7)



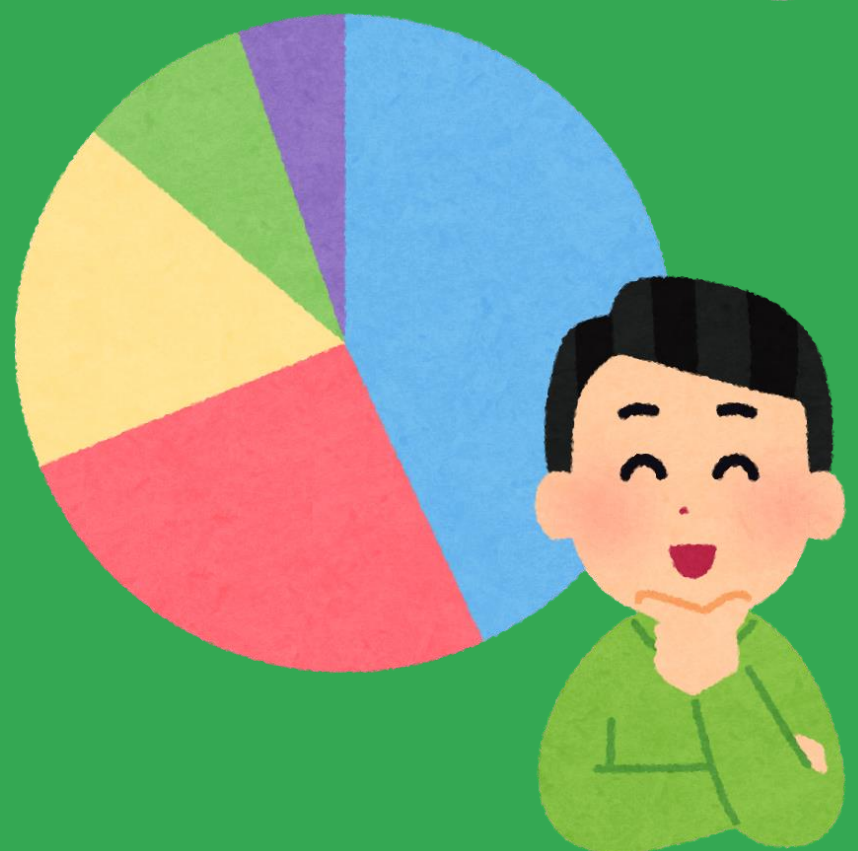
そう思う
だいたいそう思う
98%(98)

保護者

あまりそう思わない
そう思わない
1%(2)



質問①は、昨年度と同様の傾向が見られます。
教職員は、「子どもたち全員が」や「掃除や
クラスのルール」など細かなところまで考える
ため、少し厳しめになるかもしれません。
しかし、ほめて育てることを意識し、できな
いことについてはなぜできないかを一緒に考える
取組を進めていきたいと思います。



質問②

※()はR5年度の数値

学校は、子どもたちがきまりやルールを守ることの大切さについて考える取組を行うことができましたか。

そう思う

だいたいそう思う

91% (80)



教職員

あまりそう思わない

そう思わない

9% (20)



そう思う

だいたいそう思う

89% (91)



子ども

あまりそう思わない

そう思わない

10% (8)



そう思う

だいたいそう思う

95% (96)



保護者

あまりそう思わない

そう思わない

4% (4)



質問②は、R5年度は教職員のポイント(80)が、子どものポイント(91)や保護者のポイント(96)よりも低かったのですが、子ども、保護者の結果を見て、教職員が取組を行ってきたことに自信を持てた結果が、R6年度の教職員のポイントアップ(91)につながったのではないかと考えています。教職員も認められることで自信を持つことができます。

教職員も子どもたちを認めてあげることで、子どもたちの自尊感情を高めていきたいと考えています。



質問③

※()はR5年度の数値

子どもたちは、自ら進んであいさつを行うことができましたか。

そう思う

だいたいそう思う

56%(40)



教職員

あまりそう思わない

そう思わない

43%(60)



そう思う

だいたいそう思う

86%(85)



子ども

あまりそう思わない

そう思わない

13%(14)



そう思う

だいたいそう思う

73%(74)



保護者

あまりそう思わない

そう思わない

26%(25)



質問③の結果からは、子ども、保護者はR5年度と同様の傾向が見られましたが、教職員は肯定的な回答に16ポイントの上昇傾向が見られました。子どもたちを認めるということを意識して取り組んできた成果が見られます。

しかしながら、子どもたちの86%が頑張っていると回答していますので、子どもたちの頑張りをさらに認めながら、さらなる向上を目指していけるよう取り組んでいきたいと考えています。

質問④

※()はR5年度の数値

学校は、子どもたちが自ら進んであいさつすることの大切さについて考える取組を行うことができましたか。

そう思う
だいたいそう思う
70% (70)

あまりそう思わない
そう思わない
30% (30)

教職員

そう思う
だいたいそう思う
88% (88)

あまりそう思わない
そう思わない
11% (12)

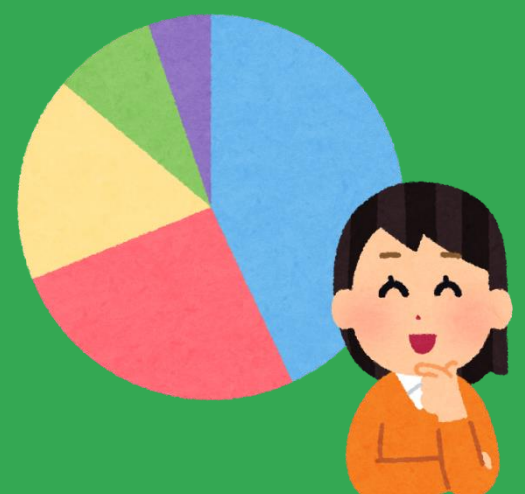
子ども

そう思う
だいたいそう思う
88% (87)

あまりそう思わない
そう思わない
12% (12)

保護者

質問④では、あいさつの大切さについて考える取組については、教職員、子ども、保護者のすべての立場でR5年度と6年度の結果に同様の傾向が見られました。引き続き観察していきたいと思います。



質問⑤

※()はR5年度の数値

子どもたちは、優しく思いやりのある言葉を使って生活することができましたか。

そう思う

だいたいそう思う

87%(87)

教職員

あまりそう思わない

そう思わない

13%(13)

そう思う

だいたいそう思う

86%(87)

子ども

あまりそう思わない

そう思わない

13%(12)

そう思う

だいたいそう思う

85%(84)

保護者

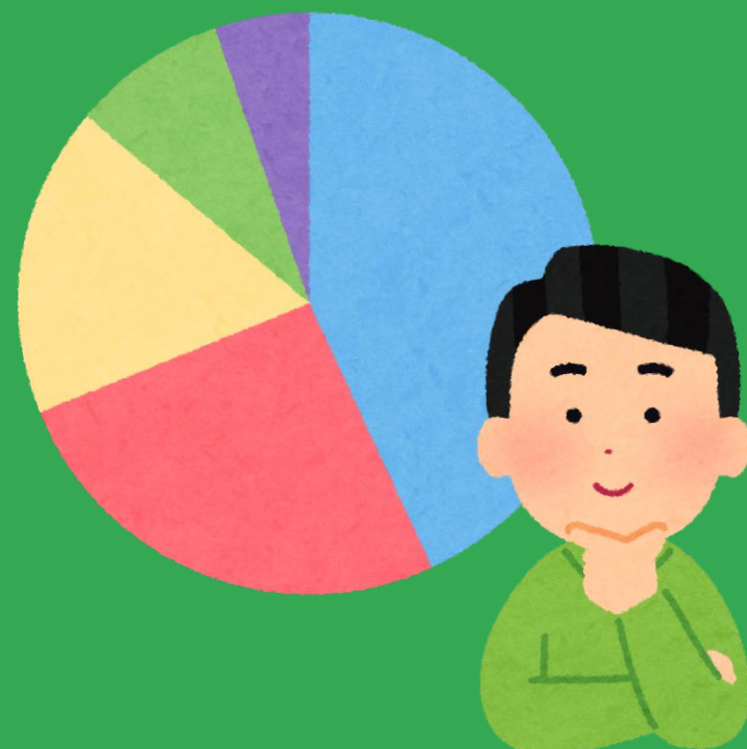
あまりそう思わない

そう思わない

15%(16)

質問⑤の結果は、子どもたちが優しく思いやりのある言葉を使って生活できていると感じている、教職員、子ども、保護者の回答が、およそ85%という同様の傾向が見られました。

また、R5年度の結果ともほぼ変わりはなく、今後も100%を目指して取組を行っていきたいと考えています。



質問⑥

※()はR5年度の数値

学校は、子どもたちが言葉遣いの大切さについて考える取組を行うことができましたか。



そう思う
だいたいそう思う
87%(80)

教職員

あまりそう思わない
そう思わない
13%(20)



そう思う
だいたいそう思う
91%(93)

子ども

あまりそう思わない
そう思わない
8%(7)



そう思う
だいたいそう思う
84%(79)

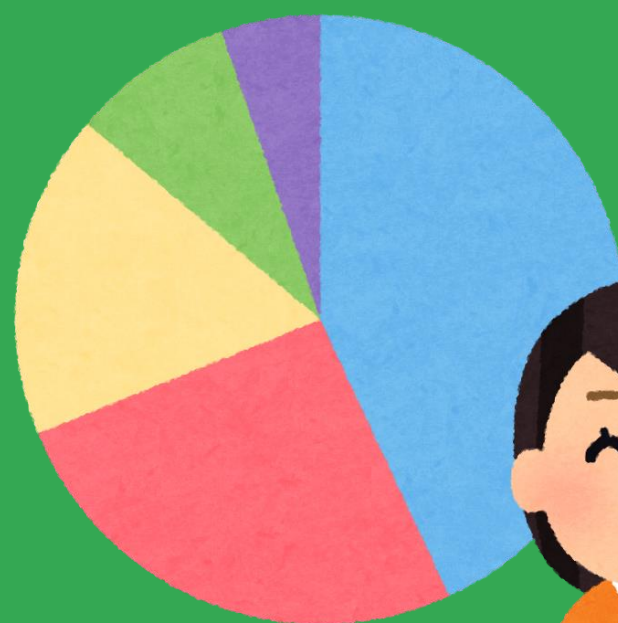
保護者

あまりそう思わない
そう思わない
16%(20)

質問⑥の結果から、質問⑤のおよそ85%の回答者が、子どもたちは優しく思いやりのある言葉を使って生活することができていると感じていることに対して、その取組が行われていたかをどれくらい実感できているかがわかります。教職員は87%が実感でき、R5年度よりも7ポイント上昇しています。

子どもたちは91%とR5年度よりも2ポイント下がっていますが、高く評価しています。

保護者は84%が取組を評価しており、R5年度よりも5ポイント上昇しています。



質問⑦

※()はR5年度の数値

子どもたちは、体育や休み時間に体を動かすことを楽しむことができましたか。

そう思う
だいたいそう思う
100% (100)

教職員

あまりそう思わない
そう思わない
0% (0)



そう思う
だいたいそう思う
84% (84)

子ども

あまりそう思わない
そう思わない
15% (15)



そう思う
だいたいそう思う
84% (87)

保護者

あまりそう思わない
そう思わない
16% (13)



質問⑦の結果から、教職員は子どもたちがいつも外に出て元気よく遊んでいた、そして体育の時間も運動を楽しむことができたと感じています。

子どもたちの中には外遊びが苦手な子もいることから全員が楽しめた、または好きだとは言えないことから100%にはならないと考えています。しかし、84%というたくさんの子どもたちが運動を楽しんでいます。

質問⑧

※()はR5年度の数値

学校は、子どもたちが体を動かすことの楽しさについて気づく取組を行うことができましたか。

そう思う
だいたいそう思う
96% (94)

教職員

あまりそう思わない
そう思わない
4% (7)



そう思う
だいたいそう思う
83% (86)

子ども

あまりそう思わない
そう思わない
17% (14)



そう思う
だいたいそう思う
89% (88)

保護者

あまりそう思わない
そう思わない
9% (11)



質問⑧は、子どもたちが体を動かすことの楽しさに気付くことができるような取組を行うことができたのかを評価する質問になっています。

なわとびや大なわ、ドッジボール大会、他学年との交流の中での遊びなど、体を動かして遊ぶことを意識した取組を行っていますが、子どもたちと教職員の認識に差があるようなので、その差が埋まるよう意識した取組を行っていきたいと思います。



質問⑨

※()はR5年度の数値

子どもたちは、楽しく学習することができましたか。

そう思う
だいたいそう思う
100% (94)

教職員

あまりそう思わない
そう思わない
0% (7)



そう思う
だいたいそう思う
86% (88)

子ども

あまりそう思わない
そう思わない
14% (11)



そう思う
だいたいそう思う
91% (91)

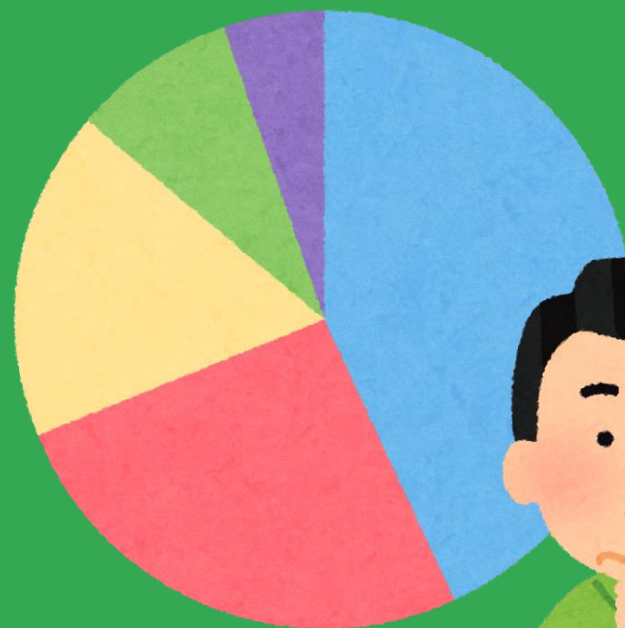
保護者

あまりそう思わない
そう思わない
9% (8)



質問⑨は、子どもたちが楽しく学習しているかを聞いています。

子どもたち自身が楽しく勉強していると回答しているポイントが、教職員や保護者のポイントよりも低いことが気になります。85%の子どもたちが肯定的に回答していますが、学校は、すべての子どもたちが学べる場として経営しなければなりません。情報を共有しながら来年度への課題を見つけ、対処していきたいと考えています。



質問⑩

※()はR5年度の数値

学校は、子どもたちがわかりやすい授業を目指す
取組を行うことができましたか。

そう思う

だいたいそう思う

100% (94)

教職員

あまりそう思わない

そう思わない

0% (6)

そう思う

だいたいそう思う

88% (90)

子ども

あまりそう思わない

そう思わない

12% (9)

そう思う

だいたいそう思う

93% (93)

保護者

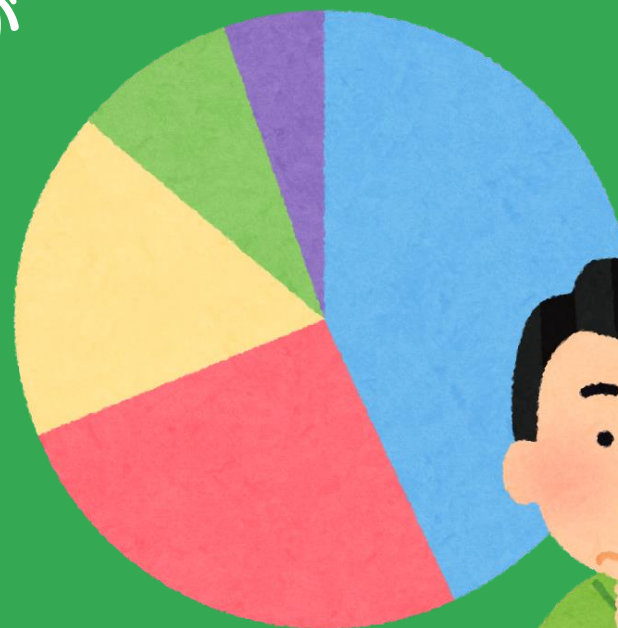
あまりそう思わない

そう思わない

7% (6)

質問⑩は、子どもたちが楽しく学習できる取組が
行われているかを問う質問です。

楽しい授業づくりを目指しているため、教職員か
らは、取組んだという意識が強く表れています。
しかし、子どもたちの思いとは少し差が見られる
ため、単元や授業の終わりにしっかり振り返りを
行い、子どもたちが楽しく学んでいるかをもっと
意識して確認するよう教職員で共有していきた
いと思います。



子どもたちへの質問

学校は、楽しいですか。

**そう思う
だいたいそう思う
87% (87)**

子ども

**あまりそう思わない
そう思わない
13% (12)**



この質問は、子どもたちにだけ回答してもらった質問です。

R5年度同様に約90%の子どもたちが「学校は楽しい」と思っているようです。しかし、学校としては100%を目指すよう頑張っています。

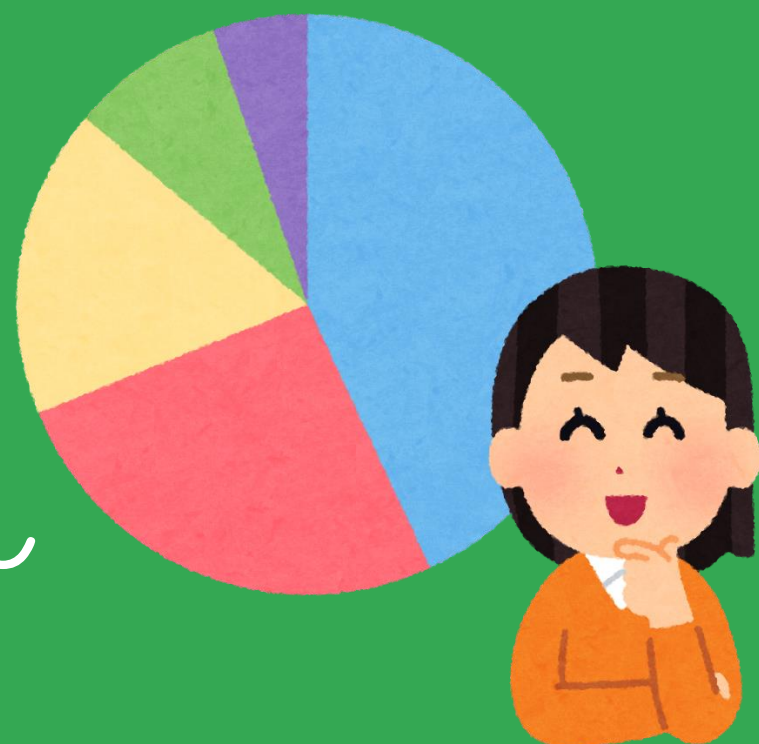
4月から子どもたちに学校が楽しいと言ってもらえるように、楽しい授業づくりや、地域の方々に学ぶ昔遊びやいろいろな分野のゲストティーチャーの招へい、運動会やウインターコンサートの計画を進めるよう先生方と打ち合わせしてきました。

R6年度は、ゲストティーチャーによる授業を講師先生の方の了承のもと、自由に参観できるようにしました。教師の授業だけでなく、社会で活躍されている方々のお話を聞くことで、子どもたちの将来の夢につながればと思っています。また、その様子を保護者の方々にも参観していただきたく、行わせてもらいました。

今後も学校が楽しいと思える授業づくりと教育計画を進めていきたいと思っています。

学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。記述式でいただいたご意見の中で、アンケートについていくつか質問がありましたので、回答させていただきました。

そちらもご参照ください。



Q1. 学校評価アンケートの目的は何ですか。

A1. 学校では、学校教育法および学校教育法施行規則に準じて、教職員が自己評価を行っています。教職員の評価と子どもたちや保護者の方々の回答と比較し、現状を知るためアンケートにご協力いただいています。



Q2. 学校評価アンケートに答えにくい項目があり、無回答にしましたが、よかったでしょうか。

A2. 教職員の質問と比較しやすいように質問を考えたため、回答しにくい質問もあったと思います。それは、今後考えていく課題にもなりますので、ありがたく受け止めさせていただきます。



Q3. 学校での様子がわからないので、どのようにして回答すればいいですか。

A3. わからなければ無回答で大丈夫です。

子どもたちの様子につきましては、日々の様子や学級、学年、校長室だより、学校ホームページ、PTA広報、x(旧ツイッター)などでお伝えしているところです。

しかし、まだまだお伝えできていないことが多く、お伝えしていけるよう努力してきたいと考えています。



学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

